

APRC-FY2022-PD-PHL01

海外の政策文書

原文： DOST Science for Change Program（フィリピン科学技術省）2020年5月

URL： <https://www.dost.gov.ph/9-programs-and-projects.html>

【フィリピン】

DOST サイエンス・フォー・チェンジ・プログラム

(Tentative translation)

【仮訳・編集】

国立研究開発法人科学技術振興機構
アジア・太平洋総合研究センター

【ご利用にあたって】

本文書は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（Asia and Pacific Research Center；APRC）が、調査研究に用いるためアジア・太平洋地域の政策文書等について仮訳したものとなります。APRCの目的である日本とアジア・太平洋地域との間での科学技術協力を支える基盤構築として、政策立案者、関連研究者、およびアジア・太平洋地域との連携にご関心の高い方々等へ広くご活用いただくため、公開するものです。

【免責事項について】

本文書には仮訳の部分を含んでおり、記載される情報に関しては万全を期しておりますが、その内容の真実性、正確性、信用性、有用性を保証するものではありません。予めご了承下さい。

また、本文書を利用したことに起因または関連して生じた一切の損害（間接的であるか直接的であるかを問いません。）について責任を負いません。

APRCでは、アジア・太平洋地域における科学技術イノベーション政策、研究開発動向、および関連する経済・社会状況についての調査・分析をまとめた調査報告書等をAPRCホームページおよびポータルサイトにおいて公表しておりますので、詳細は下記ホームページをご覧ください。

（APRCホームページ） <https://www.jst.go.jp/aprc/index.html>



（調査報告書） <https://spap.jst.go.jp/investigation/report.html>



本資料に関するお問い合わせ先：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（APRC）

Asia and Pacific Research Center, Japan Science and Technology Agency

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

Tel: 03-5214-7556 E-Mail: aprc@jst.go.jp

<https://www.jst.go.jp/aprc/>

DOST サイエンス・フォー・チェンジ・プログラム

ザ・サイエンス・フォー・チェンジ・プログラム（S4CP）は、テクノロジーとイノベーションがゲームチェンジャーとなる現代の開発動向に対応し、国内の科学技術イノベーション（STI）を加速させるために創設された。S4CP を通じて、DOST は国内の STI を大幅に加速させ、科学技術人材育成と研究開発への投資を顕著に増加させることができる。

S4CP は、研究開発機関の能力向上と産業競争力の強化のための加速度的な研究開発に焦点をあてており、以下の4つのプログラムで構成されている。(1) 地域研究開発ニッチセンター（NICER）プログラム、(2) 研究開発リーダーシップ（RDLead）プログラム、(3) 研究開発機関と産業界のための国内経済を活用した共同研究開発（CRADLE）プログラム、(4) 産業向けの科学技術によるビジネス・イノベーション（BIST）プログラムである。

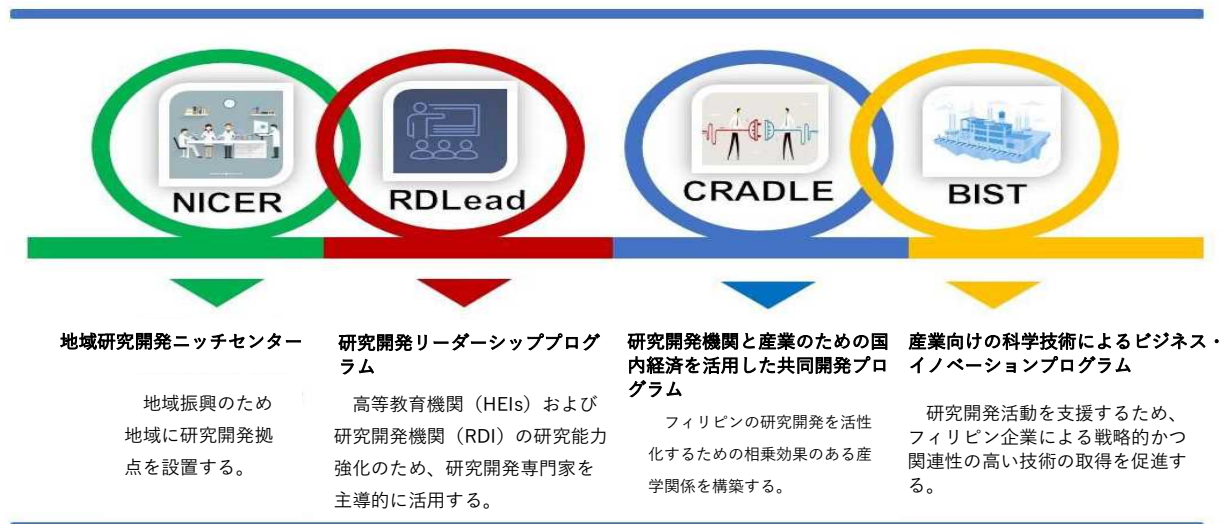


図 1. DOST サイエンス・フォー・チェンジ・プログラムの 4 つの構成要素

NICER プログラム：

NICER プログラムは、地域の高等教育機関が地域の開発ニーズと既存の研究開発能力および資源を統合することによって、地域研究を大幅に改善するための能力を提供するものである。このプログラムでは、地域の高等教育機関が研究開発能力を向上させ、科学技術基盤を改善するための制度的な補助金を提供している。NICER プログラムは、学术界および産業界との協議により設立され、地域開発評議会により承認された。NICER は、地域社会や産業界が抱える特定の科学技術ニーズに対応するための共同研究開発を行うユニークな拠点であり、それによって地域開発の加速に貢献している。NICER は、共同研究開発活動を行うための研究開発機器の整備、開発、取得など、各地域の具体的なニーズに対応している。現在、14 の地域に 18 の NICER があり、総資金は 6 億 4100 万ペソである。

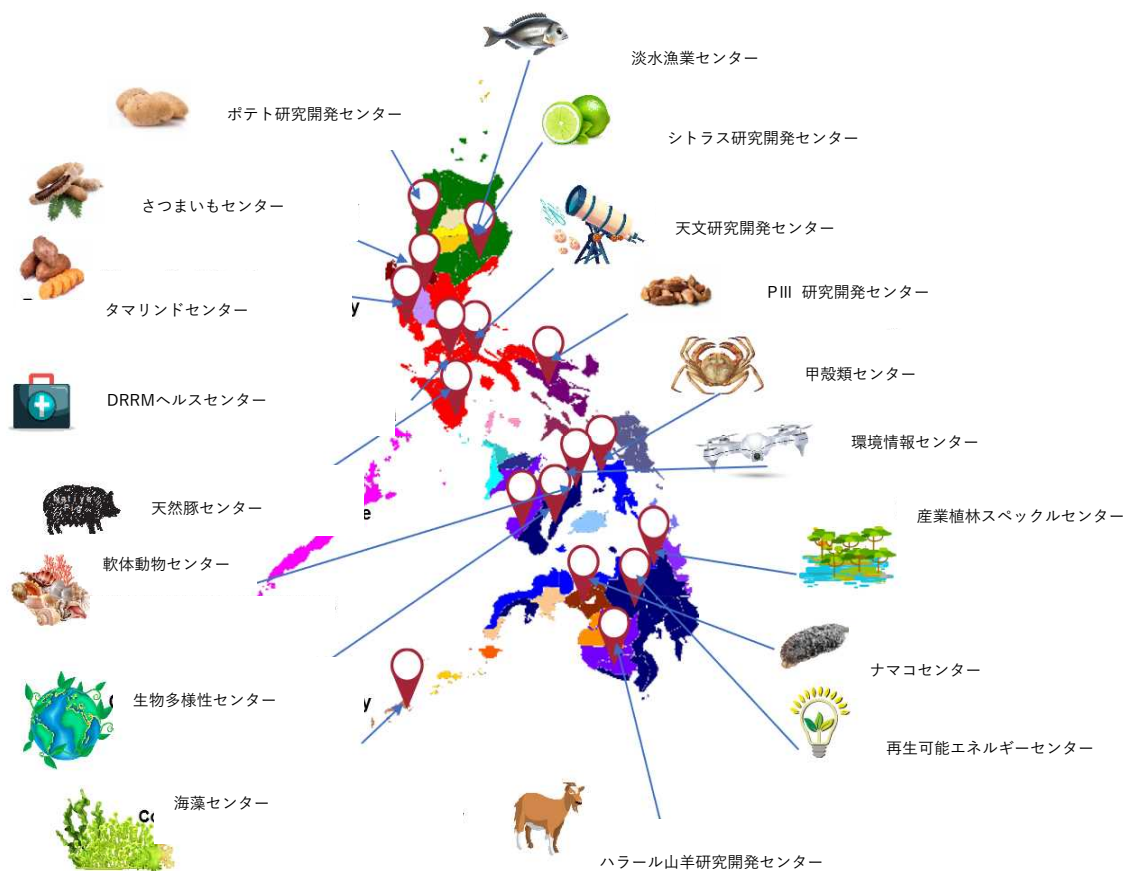


図 2. フィリピン群島全域の DOST NICER

RDLead プログラム：

RDLead プログラムは、NICER プログラムによる研究開発センターの設立を補完するものである。

RDLead は、地域の高等教育機関と国立機関の研究能力を強化するために、強力なリーダーシップ、マネジメント、革新的な政策決定能力を備えた専門家や高度なスキルを持つプロフェッショナルを招へいする仕組みを提供している。RDLead と NICER の両プログラムは、高等教育機関の研究能力を向上させ、国の社会経済発展に貢献する研究成果の活用を促進し、緊急課題への対処を支援するものである。NRCP は本プログラムの実施機関である。

CRADLE プログラム：

CRADLE プログラムは、学术界と地域企業の協働を促進し、競争力を向上させ、イノベーションを促進するために特別に構想されたプログラムである。このプログラムは、新技術が大学や研究開発機関から産業界へ、つまり研究室から市場へのスムーズな移行を促進することで、国内のイノベーション・エコシス

テムを改善することを目的としている。CRADLE の枠組みは、政府、産業界、学术界の三者間パートナーシップであり、民間企業とパートナーを組む大学や研究開発機関の協働に対して、政府が資金を提供するものである。このプログラムは、フィリピンの企業が研究開発を利用して革新的なソリューションを開発する際の問題を解決することを目的としている。現在までに、DOST はフィリピン全土の 29 の産学連携プロジェクトに 1 億 2500 万ペソ近い資金を提供している。



図 3. CRADLE パートナー（2020 年第 2 四半期時点）

BIST プログラム：

産業界のための BIST（科学技術によるビジネス・イノベーション）プログラムは、民間企業や産業界が最先端の設備や機械、技術ライセンス、特許権などの斬新で戦略的な技術を獲得するのを支援し、研究開発を通じてフィリピン産業界のイノベーション能力をレベルアップすることを目的としている。このプログラムでは、必要な技術にかかる総費用の 70% を上限として、ゼロパーセント金利で資金を提供している。現在までに、BIST プログラムは、ハーブの会社である株式会社ハーバネクスト・ラボラトリーズのプロジェクト 1 件を承認し、総額 1170 万ペソの資金援助を提供している。

2018 年 4 月 2 日に承認された DOST 特別命令第 0276 号により、CRADLE および BIST プログラムの運営委員会が設立された。運営委員会は、研究開発担当次官であるロエナ・クリスティナ・エル・グエバラ博士を筆頭に、貿易産業省（DTI）、フィリピン産業連盟（FPI）、フィリピン商工会議所（PCCI）、フィリピン農水産業天然資源研究開発審議会（PCAARRD）、フィリピン保健研究開発協議会（PCHRD）、フィリピン産業・エネルギー・萌芽技術評議会（PCIEERD）がメンバーとして参加している。

委員会は、以下の機能を果たす。(1) CRADLE および BIST プログラムの実施に関連する政策の検討／策定、(2) プロジェクトの管理および運営における助言と指導、(3) CRADLE および BIST プログラムの実施を成功させるために必要な他の機能。

2017 年の S4CP の実施以来、DOST は 4 つのプログラムに対して合計 4 億 758 万 5,946.6 ペソを拠出した。その内訳は以下のとおりである。

表 1. サイエンス・フォー・チェンジの資金拠出の概要 (2017～2019 年)

	2017年	2018年	2019年	プログラム別計
NICER	133,791,318.00	35,921,212.80	138,614,162.00	308,326,692.80
CRADLE	9,893,065.00	14,823,963.99	33,404,892.51	58,121,921.50
RD LEAD	-	7,528,190.90	21,909,141.40	29,437,332.30
BIST	-	-	11,700,000.00	11,700,000.00
総計				407,585,946.60